



枝川幼稚園

◆親子ふれあい体操

南国まほろば会の山脇寛史先生による講演と親子ふれあい体操を行いました。幼児期における運動遊びの重要性についての講演では、子どもにとって今何が大切であるか気付いたとき、親子で一緒になって取り組むことの重要性や、家族の温かい支えや見守りがあってこそ体を動かすことが好きな子どもに育つことを学びました。

後半は、親子で手つなぎ膝タッチ、背中合わせストレッチ、足裏合わせ、膝の山登り、肩乗り、手繋ぎでんぐり返しなどのふれあい体操をしました。それぞれ



の動きに反射神経を養い相手の動きをよむ、バランスをとる、上肢の支持力、下肢の引きつけなどのねらいがあり、親子で楽しくふれあい遊ぶことで運動能力が育つことが分かりました。保護

者からは、「今の大切な時期を大事にしながら、子どもたちと思いきり遊ぶ時間をつくってみたい」などの感想が寄せられました。

◆年長さんが作ったお化け屋敷

7月中旬、年長児は、お化けごっこに夢中です。「どうしたら怖くなるかな」「暗くしよう」「音がいる」「自分たちがお化けになろう」など、いろいろなアイデアを出し合い工夫を重ねながら、友達と一緒に遊びを進めていこうとする年長児ならではの姿が見られます。思いを出し合いながら実現しようとしていく、この中での様々な経験が子どもの成長につながっていきます。幼稚園教育ではこの過程を大切にしていきます。小さな組の子どもたちは、年長児に憧れ、遊びを真似ようとするなどし、園の遊びの文化が受け継がれていきます。



伊野小学校

◆防災学習 ～大雨・土砂災害のおそろしさを学ぶ～

6月17日、高知県中央西土木事務所の方々に5年生へ防災の出前授業をしていただきました。

最初は、いの町の治水の授業でした。2年前の大雨を例に挙げ、これまでどのように被害を減らしてきたか、様々な治水の工夫を学びました。地震や津波のことも学んだ後、土石流体感3Dシアターと降雨体験装置、模型実験に分かれて学習しました。いつ、どこで災害が発生するかわかりません。子どもたちは模擬体験を通して、自然の怖さや防災に対する意識を高めたと思います。



◆平和(人権)集会

全児童が低学年・中学年・高学年に分かれて7月6日に平和(人権)集会を行いました。1年生・2年生は、人権擁護員の方々が『ともだちや』の大型絵本を使って読み聞かせをしてください、本当の友達についてみんなで考えました。3年生・4年生は、人権擁護員の方々に『葉っぱのフレディ』を劇に見せていただき、その主人公の成長や季節の変化を通して、命の大切さや尊厳を学びました。5年生・6年生は、『信頼の貯金』と題して、自他を大切にする心や行動などについて学びました。人権と命について、全校で深く考えた1日となりました。

